

ぎふ木造塾

開催案内

木造の未来創造Ⅲ



新たな発見や発想が仕事の領域を広げ木造の未来創造をする事で
自己啓発になる勉強会を開催します。

○会 場 OKBふれあい会館 301中会議室

○講義日程 裏面に記載

○受講料 事前申し込み 岐阜県建築士会会員：3,000円/回 一般：4,000円/回 学生：500円/回
当日申し込み 岐阜県建築士会会員：4,000円/回 一般：5,000円/回 学生：500円/回
※各講義毎に費用が必要です。

○受講申込書 FAX:058-215-9367 ※該当する項目に○を付けて下さい。

- 会員(会員番号：)
- 一般
- 学生(学校名：)
- 講義1
- 講義2
- 講義3
- 講義4
- 講義5 (講義内容は裏面をご覧ください。)

申込講義番号

合計金額 円

(ふりがな) 氏名 住所 〒 (勤務先住所の場合は勤務先名称もご記入ください。)

TEL FAX

携帯番号 E-mail

○応募締切 事前申し込み 各講義 1週間前迄 定員 100名 先着順

継続能力開発(CPD)制度
講習会

CPD 単位は 1 講義は 3 単位の予定。
見学会は未定です。

申し込み・問い合わせ先

公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号 岐阜県シンクタンク庁舎4階
Tel 058-215-9361 Fax 058-215-9367

http://www.gifukenchikushikai.or.jp/ E-mail info@gifukenchikushikai.or.jp



講 義 日 程

番号	月・日	曜日	時間	内 容	講 師
1	8月26日	土	13:30 ～ 16:30	<p>「総合的な環境価値をつくる」 ～多面的な環境性能を評価する～</p> <p>現代は、「環境の時代」と言われて、様々な問題が顕在化しています。その一端を解決すべく、建築を取り巻く環境設計の手法、技術もどんどん進化、高度化しています。それにより省エネ性、快適性が上がるのは大変望ましいことですが、一方で建築が本来持っていた周りとの関係性を絶ち、「閉じた住む機械」になってしまうのではないかと考えています。住宅は、生態系と、もっと「柔らかくつながる」ほうがいいと思っています。そしてそれが環境価値となり、末長く使われることが長い目で見て結果的に問題解決につながっていくと考えています。多様な視点から建築環境作りを進めていく道筋を、事例など交えながらお話しさせていただきます。</p>	 ビオフォルム環境デザイン室 代表 山田 貴宏 氏
2	9月23日	土	13:30 ～ 16:30	<p>「建築に憧れて」</p> <p>20代にひたすら建築を見て歩き独学で建築を学ぶ。 岐阜市に事務所開設し、GA設計事務所として、現在11人のスタッフと共に、岐阜・東海地方を中心とした美しい建築・町並みを創り続けている。住宅建築を中心に、中部建築賞、岐阜市都市景観賞、岐阜市都市景観賞奨励賞、羽島さらめきまちづくり美観賞等、受賞され、また多くの作品を「I'm home」「sumai(新しい住まいの設計)」等、全国誌にも発表し続けています。また近年は、これから建築を志す大学生や地域の子供たちにも、建築の素晴らしさを伝えるため、講演活動もされています。今回は、「建築に憧れて」と題し、日頃から何を見て何を感じ、それをどの様に自身の作品に活かし建築を創り上げているのか。建築に対する考え方・思いを講義して頂きます。</p>	 建築家 玉木 直人 氏
3	10月21日	土	13:30 ～ 16:30	<p>「民家再生を振り返って」</p> <p>私が過去を振り返った時、心に残るのは多くの方々との出逢いです。人は人間。即ち人と人の中で始めて生きられる。1人では生きていけないのが人間です。ですから仕事もそうです。「民家の再生」は私の事務所の若い女性の真心に導かれて、はじめて足を踏み出すことが出来たのです。今日まで元気に、全国で「民家再生」をして来られたのは、村松貞次郎先生との出逢いが大きな励みとなりました。そして94才まで現役を目指すことになりました。また、関野克先生にお目にかかったことで「民家再生」を新しい建築分野として、「門」に至る必要な「道」を教えてくださいました。その結果、現在88才に至る年齢と、その間全国で390件以上の民家再生を残すことにより道が出来たのです。これも全て人様のお蔭です。その方々との出逢いの詳細についてお話をさせていただきます。ご参考になれば幸いです。</p>	 (株)降幡建築設計事務所 代表取締役会長 降幡 廣信 氏
4	11月19日	日	13:30 ～ 16:30	<p>「火事に負けない木造建築 ～住宅から中規模木造まで～</p> <p>近年、建築基準法の防火法令・告示が改正され、木造で準耐火建築物・耐火建築物の新しい設計技法で設計できる用途が拡大され、木材を表しにしながら防火構造・準耐火建築物にする事も可能になっている。最近の記憶に新しい糸魚川の大火においては、木造建築物は燃えやすい事、密集する地域に於いて木造建築は火に弱い構造ではないのかと感じた方も少なくないだろう。糸魚川で起こった大火の報告を交えて、木は燃えるがゆっくりと燃えるこれを長所と捉えた技術開発が都市の木造建築や中規模の設計自由度が大きく向上している。新しい技法・耐火実験データ等を通して、木造建築物の新たな可能性を知る。</p>	 桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇 氏
5	12月2日	土	13:30 ～ 16:30	<p>「自然さ」</p> <p>南氏は、伊東豊雄建築設計事務所に11年間在籍された今注目の若手建築家です。みんなの森ぎふメディアコスモスや台湾大学社会科学部校舎棟など各時代の重要なプロジェクトを担当したあと、自身の事務所を設立しました。今年4月に日本全国の39歳以下の若手建築家を対象とした「伊予西条 糸プロジェクト住宅設計コンペティション」では325点の応募案の中から選定された新進気鋭の若手建築家です。伊東事務所時代から今現在までを通して、いつも心地よさや豊かさを感じられる場をつくりたいと考えています。それは建築だけでなく、ランドスケープや家具によってできるものかもしれませんが、人が心地よいと感じるときには、「自然さ」をもった環境・空気があると考えています。伊東事務所時の話から現在考えていることまで幅広く講演して頂きます。</p>	 南俊允建築設計事務所 代表 南 俊允 氏